

就労支援サービス論

科目コード

CM4076



単位数	履修方法	配当年次	担当教員
1	S(講義)	3年以上	金子 光宏

※2019年度より担当教員が変更になりました。

※オンデマンド・スクーリングは別教員（三浦剛先生）が担当いたします。

スクーリング

■スクーリングで学んでほしいこと

就労支援サービス論は、2007（平成19）年の「社会福祉士及び介護福祉士法」の改正で新たな科目として加えられました。障害者や生活保護受給者への就労支援という課題を、トータルな社会福祉援助論としての就労支援という視点からまとめたものです。

したがって、労働基準法を中心とした労働者の権利を保障する制度を出発点に、社会福祉の枠組みからの支援の現状を知り、どのような支援がどのような方法で行われるべきかを考えていくことが学習のねらいです。

また、就労を考えることは、これから就職していくみなさん、あるいは現在就労しながら学んでいるみなさんにとっても大きな課題です。自らのこととして問題を捉えていく姿勢も合わせて学んでください。

※この科目の担当教員は、福祉の相談援助の実務経験を有します。

■到達目標

- 1) 労働の意味および社会福祉と労働の関係が説明できる。
- 2) 就労支援の社会福祉における位置づけが説明できる。
- 3) 現代の労働を取り巻く状況が説明できる。
- 4) 労働者の権利を保障するための法制度が説明できる。
- 5) 障害者や低所得者への就労支援の方法と実際が説明できる。

■教科書

社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座18 就労支援サービス（第4版）』中央法規出版、2016年（第4版でなくても可）

（最近の教科書変更時期）2016年4月

（スクーリング時の教科書）上記教科書を使用します。また、それに準拠したプリントをスクーリング時に配付します。

■「卒業までに身につけてほしい力」との関連

とくに「専門的知識」「アセスメント力」を身につけてほしい。

■講義内容

回数	テーマ	内容
1	労働の意味	働くことの意味から就労支援の目的を考える
2	社会福祉と就労支援	就労支援における社会福祉実践の意味を考える
3	現代の労働を取り巻く状況	就業率や就業構造の変化などを視点に、労働環境の現状を分析する
4	労働に関する法制度	労働関連法規や労働保険などを学び、3との関連から労働者のおかれている実情を理解する
5	障害がある人を対象とした就労支援の現状と課題	有給雇用を目指す支援、福祉的就労支援それぞれの現状と課題を学ぶ
6	低所得者を対象とした就労支援の現状と課題	生活保護受給者だけではなく、生活困窮者を対象とした支援の現状と課題を学ぶ
7	就労支援におけるケアマネジメントおよび連携、ネットワーク形成の方法	就労支援の方法をケアマネジメント過程ととらえ、社会資源開発に焦点を当てる
8	まとめ	
9	スクーリング試験	

■講義の進め方

パワーポイントおよび配付資料を中心に講義を進めます。教科書も適宜使用します。

■スクーリング評価の基準

スクーリング試験100%（自筆のノート・プリントのみ持込可）

■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10時間）

ソーシャルワークが始まる19世紀末から20世紀初頭にかけての貧困調査や、慈善組織化運動、セツルメント活動などについて復習しておきましょう。

生活保護法、生活困窮者自立支援法などについても確認しておきましょう。

■スクーリング事後学習（学習時間の目安：20～25時間）

就労支援におけるソーシャルワーク（社会福祉実践）の意味が説明できるように、振り返っておきましょう。